

児童発達支援事業所における自己評価結果 (公表)

令和4年4月16日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		法令基準の1人あたり2.47㎡以上は確保されており、適切だと思います。	余裕のある空間設定となっておりますが、常に整理整頓を心がけ、少しでも広くスペースを確保できるように努めてまいります。
	2	○		国が定めた配置基準人数以上の職員数を十分に配し、適切に対応させていただいており、適切だと思います。	今後も、適切な人員を配置・確保して運営してまいります。
	3	○		気が散りにくくするため活動内容とその活動場所を一つの活動につき1箇所と定め、混乱しないように設定しております。 勉強するときは机で、集団活動では家具を端に片付け、広くスペースを空けて活動しやすくするなど、活動によって場面設定をするなどの工夫をしています。	現在椅子を利用する児童の在籍がなく、事業所は基本的に段差は少ない構造です。 利用児童一人ひとりの特性に応じた環境づくり、配慮並びに安全対策の面から今後も見直しや改善は常に行っていくたいと思います。
	4	○		児童へ手洗い、うがい、マスクの着用等について教育し、習慣化することで衛生環境を保てるように促しています。	今後も清潔で心地よい空間・環境づくりに努め、感染予防対策にもより注意してまいります。
業務改善	5	○		従業員全員で目標設定と振り返りを話し合い、業務改善に取り組んでおります。	今後も同様に PDCA サイクルによる業務改善に全職員で努めてまいります。
	6	○		今回が初めてのことで、ご意向を把握し業務改善に努めてまいります。	保護者様からのアンケートを踏まえ、良い事業所になれるよう取り組んでまいります。 また、保護者様からのご意見を頂戴しました際には職員全体で把握し、業務改善につなげてまいります。
	7	○		評価の結果はCOMPASS 発達支援センターの公式 Web サイトにて公開致します。	今後も、毎年 Web 上で自己評価表の公開をおこなってまいります。
	8	○		現時点では第三者による外部評価は行われていません。	第三者からの評価受審については、今後の検討課題と致します。
適切な支援の提供	9	○		新型コロナウイルス感染予防のため、現在、外部研修は控えておりますが、事業所内研修はできる限り定期的の実施しております。	新型コロナウイルス収束の際は、外部研修にも積極的に参加し、研修機会を多くもち、職員の資質向上を図ってまいります。
	10	○		支援計画作成前に、アセスメントを実施し、定期的な保護者との面談により利用児童の状況や課題を確認し支援計画に反映しています。	今後も、適切な手順をふみ支援計画を作成してまいります。
	11	○		弊社で作成し、標準化されたアセスメントシートを使用し、保護者様へ契約時に聞き取りを実施し、職員で情報共有しております。 モニタリング時も同様に、再度聞き取りを実施しております。	アセスメントシートを活用し、保護者様のご意向を職員で共有し、常に話し合いを行っています。
	12	○		利用児童の特性に合わせた項目を選択し、必要な具体的支援内容を設定しています。	今後も、一人ひとりに合わせた項目を選択し、保護者に分かりやすい具体的な支援内容の提供に努めてまいります。
	13	○		児童への支援は、支援計画に沿っておこなわれるように会議で共通理解と認識一致を図り、統一した支援が出来るよう努めています。	今後も、支援計画に沿った支援内容を、職員全体で細やかに提供できるように努めてまいります。
	14	○		支援計画をもとに、チームで立案・役割分担し、協力して支援をおこなっています。 その立案に対しては、日々話し合いをもち、改善・より良い支援提供に努めています。	今後もよりよい支援の提供ができるよう、チームでの立案に努めます。
	15	○		季節を取り入れた制作や行事、また、個別療育以外の小集団での療育等、利用児童の状況に合わせた日々の内容・支援をおこなっています。 また COMPASS の系列事業所との情報共有や専門職の手法等、多彩な趣向を凝らした支援をおこなっています。	今後も活動が固定化しないよう、一人ひとりの状況に応じた支援に努め、その内容が利用児童に反映され保護者様に伝わるように配慮してまいります。
	16	○		個々の発達段階に合わせた計画に同じ、その都度個別活動と集団活動を組み合わせて対応しています。 PDCA サイクルに基づき確認も怠らないようにしています。	今後も同様に、適切な支援計画を作成してまいります。
	17	○		朝会にて打合せ、一日の流れ等を全職員が把握し、取り組んでおります。 その日の担当児童のみならず、利用児童全員に対して共通理解と支援にあたることのできるよう情報提供に努めています。	今後も支援するにあたり、重要な時間と位置付け、時間を惜みず、情報共有と理解の一致に努めてまいります。
	18	○		一人ひとりのその日の支援に対し、成功点・工夫・気になる点等を出し、次回利用時の支援につなげています。 勤務時間・業務の都合により参加できない場合もあるので、伝えあいや連絡ノート等で工夫し、共有が出来るようにしています。	今後も、振り返り・情報共有を大事に日々実施してまいります。
19	○		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげています。	今後も、適切かつ細やかな経過記録に努め、検証・改善につなげていきます。	
20	○		定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しています。	今後も、事業所内での個別支援会議にて児童の状況を明確に保護者様にお伝えして、モニタリングや計画の見直しにより適切におこなえるように努めてまいります。	
関係機関や保護者との連携	21	○		児童の状況等は職員全体で情報共有に努めています。 児発管だけでなく療育担当者も同席し、関係機関に対しても適切な情報共有ができるよう努めています。	今後も同様に、児童発達管理責任者を軸に、職員が参加していきます。
	22	○		現在、コロナ禍で電話対応の場合もありますが、子ども発達センター・保育園・保健センター・幼稚園と連携しています。 送迎時等、先生方にも当日の様子をお尋ねしたり、必要に応じて関係機関との連携を図り、支援に活かしています。	今後も、関係機関との連携を大切に、連携した支援をおこなってまいります。
	23	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	○		コロナ禍の為、電話対応等も多いですが、送迎時に関係機関の先生とのお話を含め連携をとっております。	今後も、関係機関との連携を大切に、支援内容等情報共有と相互理解に努めてまいります。
	26	○		保護者様・関係機関の先生と必要に応じて情報共有の場を設け、情報共有・相互理解を図っています。	今後も、関係機関との連携を大切に、支援内容等情報共有と相互理解に努めてまいります。
	27	○		新型コロナの感染予防の観点から外部での研修等への参加は控えています。	研修等への参加は、感染予防をふまえて今後の課題とします。
	28	○		新型コロナの感染予防の観点から外部での参加は控えています。	コロナ収束後、保護者様のご意見もお聞きしたうえで、機会があれば是非交流を持ちたいと思います。
	29	○		新型コロナの感染予防の観点から、外部での直接参加は控えています。	コロナ禍においては、リモートで参加しております。
	30	○		通所・送迎時に保護者様からご相談いただくことがたくさんあり、園や自宅での様子をお話ししながら園や課題をおこなっています。 また、事業所からも気づいた点をお伝えすることで児童の状況や課題に気づき共通理解につながります。	今後も、保護者様との普段の何気ない会話や、児童の状況について話し合う機会を多くもち、気軽に相談していただきます。
31	○		ご相談をいただく中で、必要に応じた時間・面談を設け、状況に応じた助言に努めています。	今後も気軽に相談していただける信頼関係を大切に、お困りごとに応じて適切な支援を職員全体で身につけてまいります。	
32	○		ご契約時には、丁寧に読み合わせ、解りやすい説明に努めています。	今後も丁寧な説明に努め、理解されたかの再確認も改めて行ってまいります。	
保護者への説明責任等	33	○		支援計画は児発管が十分な話し合いで掌握した保護者様のご意向を汲み取り、また相談支援事業所から提供された情報や、様々な角度から得られた児童の状況から最終的な目標を目指して検討すべき内容との、療育の方向性を練り上げます。 支援計画の作成には必ず保護者様、相談支援事業所、事業所の3者間で話し合い、適切な支援内容を検討したうえで立案し、詳しくご説明して保護者様からの同意を得ています。	今後も、児童の状況・発達に応じた支援計画を作成し、丁寧な説明を心がけ、しっかり理解していただいたうえで同意から得られるよう努めてまいります。
	34	○		連絡帳・送迎時・電話対応等の保護者様とのコミュニケーションツールを最大限に活用するとともに、こちらから気づいたお困りごとへもお声かけ・助言に努めています。 また、ご希望により個別でご家庭や事業所内での相談機会を設け、必要な支援と助言をおこなっています。	今後も同様に、細やかな対応と配慮を心がけて支援してまいります。
	35	○		今年度は感染予防の観点から開催は控えていただいております。	保護者会等の開催につきましては感染予防の観点から控えていただいておりますが、当面の間は定期的なお便り等での共通理解を図りながら開催への準備をしていきたいと思っております。
	36	○		ご相談や申し入れにはいつでも対応できる態勢を整えています。 保護者様からの申し出の内容は、迅速な対応を心がけ、職員間で共有し、話し合い、その結果も周知しています。	解決に向け職員で話し合い、上司にも報告を行い、最適な対応をするように心がけていきます。
	37	○		毎月、事業所発行の会報を発行し、活動概要や行事予定をご案内しています。 また各事業所での活動を公式 Web サイトで公開し、毎日の情報更新はご登録の「LINE 公式アカウント」を通じてご紹介しています。	今後も事業所のお便りや、ブログその他の SNS で新鮮な情報を発信していきます。
	38	○		個人情報には鍵付書庫にて保管しており、取り扱いはから処分に至るまで厳重に管理しています。	個人情報は今後も同様に管理していきます。
	39	○		それぞれの特性に応じて、口頭だけでなく、書面や掲示物等のできる限りの手段を活用して、情報伝達に配慮しています。	今後も一つの方法にこだわらず改善を重ね、意思疎通・情報伝達により正確にしっかりと伝わるように手段を増やしていくよう配慮してまいります。
	40	○		新型コロナ等の感染予防・個人情報保護の観点から地域交流は控えています。	今後も利用児童の安全を第一に考えて対応させていただきます。 保護者様のご意向により、可能な範囲での取り組みを検討していきたいと思っております。
	41	○		玄関にマニュアルを設置しており、いつでも見やすいように取り組んでおり、契約時にも説明しています。	今後も職員により周知と訓練に努めるとともに、全体での定期的なマニュアルの再認識も行ってまいります。
	42	○		定期的な火災・地震・風水害・不審者対応訓練を実施し、訓練後の職員間での共通理解・改善に努めています。	今後も定期的に想定を変えた避難訓練を実施し、突発時の職員の対応力をつけ、非常災害の発生に備えてまいります。
非常時等の対応	43	○		契約時やその都度で保護者様に十分な確認をおこない、職員全体に周知し把握しています。 対応については、児童発達支援管理責任者の責任のもと、的確な対応がおこなわれるよう徹底しています。	今後も、継続して児童の状況の確認と的確な対応に努め、定期的な保護者様への聞き取りとともに、職員全体での対処方法に対する指導・理解の一致をおこなってまいります。
	44	○		現在、対象となる利用児童がいませんが、アレルギーのある児童については、保護者様よりアレルギー調査票にて確認し、アレルギー一覧を作成し、職員全体で把握して対応していきます。	今後も、対象児童が通所する場合は、それぞれのマニュアルを作成し、慎重な対応をおこなってまいります。
	45	○		ヒヤリハットは些細なことでも記入することで、気づきと改善につながる大切なものだと位置付け、誰もが利用児童の安全のために事例集を作成しやすいように、周知し作成しています。 作成された事例は定期的に会議等で取り上げ話し合う機会を作り、危険予防に努めています。	今後も危険回避・危険予防の事例として、継続して記録を重ね、事故防止に努めてまいります。
	46	○		コロナ禍のため、外部研修への参加は控えています。 事業所内にて定期的なマニュアルに沿った職員研修をおこなう、適切な対応が保たれるように日々努めています。	今後も、職員同士の話し合い・研修の仕方等の研修機会を増やし、継続して虐待防止に努めてまいります。
	47	○		契約書類に身体拘束についての記載があり、生命・身体保護のためやむを得ずおこなう場合は、保護者様の同意を得て、支援計画へ必ず記載していきます。	身体拘束の必要性については随時検討を重ね、十分な協議を経て、了承いただいたうえで支援計画に記載するよう致します。 また、その場合もできる限り早期に改善・解決できるように支援し、保護者様に丁寧な説明と報告をいたします。

○この「事業所における自己評価結果 (公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。